

我が無人機が東海を哨戒、対日海上監視システムが完成

人民網 2013 年 09 月 11 日 09:41 ソース：環球網総合

阿部信行

(訳者コメント)

9月9日に空自が識別した中国無人機に関して人民網の記事がありましたので紹介します。

中国報道では BZK-005 型無人機であるようです。同無人機は、実運用中か試験運用中なのかは不明です。

同無人機の概要は、下記の URL も参照してください。

<http://wiki.livedoor.jp/namacha2/d/BZK-005%CC%B5%BF%CD%C4%E5%BB%A1%B5%A1>

人民網 2013 年 09 月 11 日 09:41 ソース：環球網総合

標題「我が無人機が東海を哨戒、対日海上監視システムが完成」

本文：

近日、いわゆる”国籍不明の無人機が釣魚島付近に姿を現した”とのニュースが日本の媒体を通じてばらまかれた。報道は、釣魚島に関連したことから暗に釣魚島における中国軍の活動であることを示唆した。したがって中国外交部は直ちに回答することを迫られた。

この事件を振り返ると、9月9日、日本の媒体は、日本軍の情報を引用し、”9日午前、国籍不明の無人機1機が、東海上空の日本の防空識別圏に侵入、尖閣諸島（即ち中国の釣魚島）付近上空に飛んできた。航空自衛隊那覇基地の戦闘機は緊急発進し対応した”と述べた。またある媒体は、”同無人機は、東海から東南方向に飛行する間、釣魚島の東北 200 km 上空に飛行し、旋回した後中国大陸方向に戻った。無人機は日本の防空識別圏内を数時間飛行した”と述べた。

数ヶ月前、中国の媒体は、「中国の東海で航空部隊が使用する無人機は、海上目標の探知と識別のために使用する」と報道した。関連写真を見ると、中国軍が今回の行動に使用した機体は、中国国産の BZK-005 型高空無人機のはずである。この機体は、中国が開発した中高度長距離無人機で、装備を見ると、中国海軍の海上収集監視システムが新たな水準に達したことが分かる。

以上